



静岡県山岳連盟  
〒422-8076  
静岡市駿河区八幡3-1-17  
TEL (FAX) 054-288-7512  
編集発行/総務委員会  
平成25年9月2日発行



初日はリード競技

第34回国民体育大会東海ブロック大会が、静岡を開催県として、リード競技は7月20日浜松スクエアで、ボルダリング競技は、21日浜松市のB・S・P・O・Tにて実施された。今年開催する東京国体には東海ブロックから成女が1枠、少男が2枠、少女が1枠の代表枠を目指して白熱した競技が行われた。

時間、十分なレストの出来ない足使いの難しいルートで13b。静岡は、一番手の田邊が順調に最終ルーフ下まで到達し、終了点手前まで登り(個人順位1位)、鈴木正信はその1手ほど手前でフォールして(個人順位3位)で1位。2位に岐阜が



開会式に引き続き、初日のリード競技は、浜松スクエアのメイン壁で展開された。少年男子は、6分間の競技

続いたが、岐阜県の選手のクリップミスが無ければ順位は入れ替わっていたかもしれない。少年女子は三重県の田嶋を筆頭に、全国的に力のある選手がそろった。カテゴリー。ルートはトラバースのある長いルートで13aで競技時間は8分。少年女子の北脇はトラバースを終え、第2ルーフの途中でフォール(個人順位6位)、中村は、最終ルーフの遠いホールドを取りに行くところまで手を伸ばし(個人順位2位)、三重に続いて2位でこの日を終えた。成年女子は、少女女子と同ルートで渡辺がトラバースを終えるところで(個人順位4位)、望月が第2ルーフの途中でフォール(個人順位3位)し3

位で終えた。二日目はボルダリング競技は、4課題を2課題ずつチーム戦で、ベルトコンベアー方式(国体方式で、2課題2人でのトライ↓休み↓別2課題2人でのトライで、チームでの成績を競う)で行われた。静岡県の少年男子は、田邊・鈴木は第1課題と第3課題を完登したが、ダイナミックなレンジのある第2課題とレジスタンスな第4課題を登れず両名で完登数4で、完登数7とポルダリングで強さを見せた岐阜に次いで2位となった。



少年女子は、北脇が第2課題を登ったが、完登数4の三重には及ばず2位となった。成年女子は、望月が第2課題を登るにとどまり3位であった。

静岡県山岳連盟の総合順位は少年男子と女子が2位、成年女子が3位で、少年男子が本国体の出場権を得た。本国体では、リード、ボルダリングの双方で入賞を期待したい。

今回東海ブロック大会においては、施設を提供していただいた浜松スクエア及びB・S・P・O・Tの各施設、ルーフセットのみならず大会当日の選手への対応までしていただいたチーフルートセッターの大山さん、そして暑い中競技運営に協力していただいた県岳連の皆様には、大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。(諸戸)

## 少男本大会出場決まる

静岡県岳連の担当で開催 白熱した競技を展開

第34回東海ブロック大会 浜松市

## 木ノ内理事長 功労賞を受賞

木ノ内理事長は、長年にわたり県山岳連盟の理事長として、組織の円滑な運営と強化・発展、スポーツ登山の普及・振興及び安全登山、自然保護の啓蒙指導に尽力している。特に山岳競技の普及・発展においては、自ら国体選手、監督、総監督として国体に出場すると共に日体協公認上級コーチとして、国体選手育成、競技力の向上に中心的な役割を果たした。



南ア夏山相談所開設

畑薙臨時駐車場

平成22年10月に静岡県で開催された第49回全日本登山体育大会では、主管団体として会場(富士山周辺)の選定からコース設定、行動計画立案に主体的に取り組み、加盟団体の協力体制を整え、従来にない自然保護のコンセプトを取り入れた大会として参加者から好評を得ることができ、静岡国体に続く全国大会を成功に導いた功績

により、6月21日県体育協会体育賞の功労賞を受賞した。(滝田)

## 6月常任理事会



に恵まれたこと、道路が工事中で通行制限はあるが復旧し、バスが静岡から入り例年より多くの登山者が入山した。仮集計ではあるが、過去最高の登山者8500人を上回った。事故は、千枚小屋の下で行方不明者がおり、聖岳で病死した方等がいた。(滝田)

6月17日(月)静岡労働会館で常任理事会が開催された。会長他18名の出席者であった。滝田会長から平成25年度の行事計画が決まり、夏に向け事業を具体的に化進めてほしい。今年東海ブロック

大会を静岡が担当し、少年少女登山教室、一般向け登山教室等の計画もある。加盟団体の協力をお願いします。と挨拶があった。

議題

- (1)各委員会の報告
- (2)各委員会の事業計画について検討したい。
- (3)指導委員会の事業計画について、当岳連に無雪期の検定員が1名認定された。積雪期の検定員を今冬受講
- (4)少年少女登山教室「富士山登山」を8月に開催。
- (5)一般登山教室「白馬岳に登ろう!」を8月に開催。
- (6)冬山登山講習会平成26年2月1日〜2日
- (7)国対委員会
- (8)第34回東海ブロック大会について
- (9)遭対委員会
- (10)海外委員会
- (11)日山協
- (12)スポーツフェスティバルについて

①担当地区は東部ブロック

②期日平成25年9月7日〜8日

③コース・日程

A・Bコース

JR吉原駅〜富士山麓山の村(泊)〜宝永周遊道・6合目〜吉原駅Cコース(日帰りコース8日)

富士宮駅〜宝永周遊道・6合目〜富士宮駅

(4)東京国体(山岳競技)東海ブロック大会について

期日7月20日〜21日

会場 浜松スクエアクライミングセンター(20日)・B・SPOT(21日)

☆運営員・その他協力者・応援者募集

・競技順 少年女子①三重②静岡③岐阜④愛知 少年男子①愛知②三重③静岡④岐阜 成年女子①岐阜②三重③愛知④静岡

(5)少年少女登山教室(日山協主催) 主管静岡岳連

期日 8月21日〜22日

対象者は小学校高学年(中1を含む)とその

保護者20組

21日 富士宮駅〜富士山麓山の村(泊)

22日 富士山麓山の村〜富士宮口新5合目〜富士山頂〜富士宮口新5合目〜富士宮駅(解散)

(6)一般登山教室「白馬岳に登ろう!」

期日8月3日〜4日

募集人員は一般成人10〜20人

内容 座学を2回・低山登山を1回体験した後、白馬登山を実施。

(7)カレンダーについて

・昨年と同じ内容で、350部作成、9月に出来上がるので各会での販売、購入をお願いします。

(8)その他

・木ノ内理事長が、6月21日に県体協から山岳関係の業績に対し功労賞を受賞されました。

・準指導員について

身分(資格)の扱いについては静岡県山岳連盟の内では、公認指導員に準ずることとなります。(前川)



(右端が田邊匡律選手)

第16回JOCジュニアオリンピッククライミング大会が今年も富山県南砺市の桜ヶ池クライミングセンターで8月10日〜12日に行われた。

JOCジュニアオリンピック 田邊 中村 3位

静岡県からは、ジュニアで男子(田邊 浜松 日体高)1名、女子(渡辺、望月、いづれも富士宮西高卒)2名、ユースAで男子(吉田、鈴木、伊藤、西沢、いづれも浜松日体高)4名、女子(北脇 浜松 日体高)1名、ユースBで女子(中村 浜松 市立曳馬中学)1名の合計9名の選手を送り込んだ。



(右端が中村祐香梨選手)

予選は2日かけて、2本のルートをフラッシュでそれぞれ登り、決勝進出者を決めた。男子は向かって左の2面(パターン壁と据付壁)を使用し、女子は向かって右の2面(パターン壁と据付壁)を使用した。この大会で、この使用の仕方は初めてであった。それぞれグレードの異なるルートであったが、下部で消耗すると11mからの数回の核

心部で見事に落とされてしまうものであったり、局部的にひどく保持しにくいホールドを使用し、あきらかにフオールを狙った仕上げになっていた。予選の結果は中村が3位(女子ユースB)、北脇が9位(女子ユースA)、鈴木が8位、吉田が12位、西沢が18位、伊藤が28位(男子ユースA)、渡辺が10位、望月が11位(女子ジュニア)、田邊が3位(男子ジュニア)であった。この結果、中村、北脇、鈴木、田邊が決勝に進んだ。4名の選手が決勝

第9回小中学生クライミング大会 ボルダリング形式で実施

優秀選手発掘には参加者の増加が課題



今年度で9回目を迎えた「小中学生クライミング 浜松大会」が、7月7日にスクエアクライミングセンター(浜松市中区中田町)で行われた。今回から内容をリニューアルし、初めからボルダリング大会の形式をとった。初心者向けから経験者まで楽しめる課題を用意して、全10課題の成績で順位を競い合った。小学生のクライミング



いホールドへのトライなど、難度の高いものとなった。結果、中村祐香梨が女子ユースB 3位、北脇順子が女子ユースA 9位、鈴木正信が男子ユースA 8位、田邊匡律が男子ジュニア 3位となった。特に中村、田邊の3位入賞は立派であり、静岡県のクライミング界にとっても朗報となった。(米山)

夏山登山教室 大雪渓の雪と白馬岳登山 花々に感動

日山協公益法人化を受け

今年度の新しい試みとして、県民対象の夏山登山教室を実施した。日山協の公益社団法人化を受けてという理由と、県内の低山でここ数年遭難事故が多発している、岳連としても何らかの対策を講じる必要があるという思いからであった。



ある程度の継続性が大切である。検討の結果、白馬岳(白馬鍾ヶ岳)縦走8月3・4日をメインとし、そのための訓練として、安倍奥の山伏岳(大谷崩の日帰り山行7月21日をセットにした。更に、2回(4講座)の座学も組み込み、定員20名として公募した。

第一回は山伏岳へ

1回目の山伏岳は西日影沢から登って大谷崩から下山した。山中では読図の実習を行った。山伏へは登ったことのある参加者が多かったが、きちんとした読図はやはりあまり経験がないようであった。西日影沢沿いのルートで、周囲の地形と地形図とを照合する作業を



(山頂にて)

参加者「継続」を希望

座学は、「夏山の基本装備と使い方」「読図の基本を知る」「夏山の気象」「歩行技術と安全対策」という四つのテーマで行った。



みつちりと行った。白馬岳は天候が今ひとつではあったが、大雪渓の雪と咲き乱れる花々に、皆さん大感動であった。鍾温泉経由で下山したが、時間の関係でここでの入浴はもちろんできない。皆さん残念がって、今度は自分で計画してやって来たいと、それぞれ話題にしていた。

Table with 13 columns: 種別, 県名, 選手名, リード (手数, p順位, t順位), ボルダリング (完登計, B1計, B2計, p順位, t順位), 総合 (t順位, 順位). Rows include 成年女子, 少年男子, 少年女子.

第34回東海ブロック大会成績